



大屋富士

伸びよ 豊かに たくましく

令和7年12月8日
養父市立大屋中学校
学校だより 第8号
Tel 079-669-0111

気がつけば、1年最後の月、12月に入りました。先日は思わぬ寒波の影響で、この大屋の地にも雪が降りました。気象情報を見て早めにノーマルタイヤからスタッドレスタイヤに取り替えました。



氷は圧力を加えると融点が下がり、少しばかり融けて水になります。スケートがよく滑る理由の一つは氷に自身の体重による圧力が加わり、少しばかり氷が融け、その薄い水の膜の上を滑るため。そのため、スケートリンクは冷やしすぎると滑りが悪くなるのだとか。



スタッドレスタイヤは一昔前にスパイクタイヤと呼ばれる鋸が埋め込まれたタイヤに変わって「スタッド=鋸」の「レス=無い」冬用タイヤとして登場しました。スタッドレスタイヤはサマータイヤに比べやわらかいゴムでできていて、サイプと呼ばれるたくさんの細い溝が刻まれています。この溝に自動車の重みで少し融けてできた水が吸い込まれ、回転により外に排出されます。結果、水の膜が排除され、しっかりとグリップするわけです。

12月は、定期テストも終わり、また様々な行事もあり、滑るように生活が乱れてしまう人もちらほら。受験を控える三年生は特に、タイヤの交換が遅れて大きな事故にならないよう、しっかりと冬用装備に切り替えてこの冬を走りきってほしいと願います。



わくわくオーケストラ

を持っている人もそうでない人も、生のオーケストラの演奏を聴く機会はなかなかありません。専用の大きなホールで聴く演奏は迫力があり、心を豊かにしてくれました。また、午前中には「人と防災未来センター」に行き、防災、減災の大切さを学びました。

11月12日（水）1年生が兵庫県立芸術文化センターに音楽鑑賞に行きました。普段から興味



陶芸教室

11月13日（木）2年生が粘土による造形の良さや特徴を活かすことをテーマに陶芸に挑戦しました。一つとして同じものが存在しない手作りの

陶芸。失敗しないようにと緊張しながら挑戦する生徒たちのまなざしは真剣そのものでした。乾燥させた後、素焼き、本焼きの工程を経て完成です。あとは「割れずに上手く焼きあがりますように！」と祈るばかりです。



落語鑑賞会

11月21日（金）大屋ホールで行われた「落語 in おおや！全国素人名人会 大屋小中学校招待講演」を全校生で鑑賞しました。今回、春歌亭丹波さんより

声をかけていただき、代表として、3年生の2名が小咄を披露しました。落語家さんたちの巧みな話術に笑いと同時に感心するひと時となりました。



鉱石の道

12月1日（月）1年生が「鉱石の道郷土学習活動」として、明延鉱山と神子畑選鉱場に学習に出かけました。明延では、小林区長さんに鉱山の歩みと、閉山によって急速に進んだ人口減少の中、地域をエネルギーに盛り上げていくたくさんの仕掛けについて教えていただきました。神子畑選鉱場では山内さんに選鉱場の作りや明延とのつながりについて教えていただきました。身近な日本遺産について深く学ぶ機会となりました。

